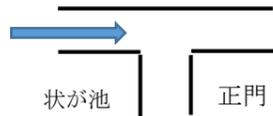


加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託 企画提案書に対する意見書まとめ

	①加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校	②だれもが楽しく通える安全・安心な学校	③快適でゆとりのある学校
要望・提案・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 増築校舎から最も近いベストポジションにプールを配置するのは理解できない。 2階のメディアライブラリ：活用目的が明確でない。 特別支援学級の教室配置：障がい種別により学級編制されているが、現設計で提案されている配置でよいのか検討。どのような教育になっていくのか？現状のままであれば難しいように思う。（学年ユニットの近くという概念） ステージ毎の交流や集会が同時に行えるスペースを確保する。 学年の枠をこえた交流できる雰囲気のある学校。 児童生徒の発達段階に応じた教育が十分に実施できる施設。 教室内にタブレット端末の保管庫を安全かつ有効利用できるように設置する。 ICT機器をどの教室にも導入して頂きたい。 児童の安全に配慮した施設づくり。 生徒会・クラブ活動・部活動・制服はどうなるのか。 新しい酒は新しい皮袋に。皮袋が出来れば、それに入る新しい酒を準備する。それを目指さなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 推進委員会でも発言いたしましたが、マイクロバス駐車場と校舎の間のスペースが狭いため、大変危険です。そのスペースを登校してきた中学生が全員徒歩で昇降口に移動し、自転車で登校してきた生徒とすれ違えます。改善策としては、そのスペースを通らなくてもよい土足で校舎内を抜けて昇降口に行くことができる通路があれば少しは危険性が少なくなると思います。下校時は、300人以上が一斉に自転車で下校するため、混雑します。やはり十分なスペースを確保が必要なので、検討をお願いします。 バスロータリーの位置は駐輪場を利用する生徒には非常に危険です。常識では考えられません。西門から入って生垣に沿って北に縦一列駐車して、正門の南にスクールバス専用の出口を作ればいかがですか。 委員会のときにもご意見が出ていましたが、登下校時の正門とバスロータリー周辺の混雑が心配です。ロータリーと校舎の間の狭いスペースで、自転車とバスから降りた子たちの動線が交差してしまうので、かなり混乱しそうで怖いです。東門から入る徒歩の通学者がいる場合はさらに通行人数が増えるので、バスロータリーの位置を変更するなど、何らかの対策が必要だと思います。 バスロータリーを歩行者や自転車の生徒が通るので、安全面で不安がある。 通学バスロータリーの乗降時の安全確保。（ロータリーに立ち入れない様） 通学バス、職員の自動車、自転車、徒歩通学者の進入経路が同一である。状が池横は、自転車及び徒歩通学者については、広い歩道があるため、比較的安全が確保されているように思うが、自転車と歩行者の接触が心配される。また、職員駐車場と校舎間の道路は、幅員が狭い割に交通量が増えており、フェンスの移動等事故防止の工夫が必要である。 バスロータリー、登校時の自転車・歩行者、バス進入の動線は安全かどうか。 準備委員会が出た意見と同様に、登下校時の動線の確保が必要であると思う。 徒歩の場合の通学路は決まっていますが、矢印側から登校してくる児童はいないのですか？いた場合学校前で混みそう。遠回り？  <ul style="list-style-type: none"> 職員室や保健室と小運動場が離れており、事故や不審者等、安全確保上の問題あり。 低学年の遊具は、小グラウンドではなく（小にもあってもよいが）やしろのにわ内に集約してはどうか。（できれば、既存校舎棟1階のやしろのにわに面しているところを職員室にして、職員室に計画されているところに相談室や会議室、地域室など配置） 今回の新型コロナ対策で、発熱者は、原則として別室での管理となっていた。保健室内を分割できるような設備が必要である。 多様性に配慮し、ユニバーサルデザインを取り入れた、だれにもあたたかい施設。 防犯カメラについて 心のケアについて やしろのにわ側の窓の安全対策。 プール：児童が間違っ大プールに入らない配慮。 増築校舎棟階段が無いようですが、既存校舎からの移動ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレの数が少なく、移動に時間がかかる。多目的教室・普通教室・特別支援教室の配置に配慮が必要である。 自転車置き場は再利用されますが、校舎横の自転車置き場がなくなるならば、既存の自転車置き場では全員の自転車を収容することが難しいです。 北駐車場に職員の車を駐車するが、保護者の車が多数生徒の送迎で出入りするため、事故が起こらないよう出入口付近の整備が必要です。前の道は道幅が狭く、近隣住民の車もよく通ります。大変不便な道ですので、教員の車の出入りが負担になることが予想されます。 「やしろのにわ」北側教室の風通し（特に2階以下）は確保されるのか。また、1～6年生と7～9年生の時程の差（45分授業、50分授業、業間休み等）があり、声の反響による影響はどの程度抑えられるのか。 デザインも大切だが、冷暖房設備を効果的に利用し、快適な空間で教育活動が行えるようにする。 近年、夏が非常に熱くなっており、学校の教室は30度を超えることもあります。温度だけでなく、湿度の管理など、子どもたちが快適に学校生活を送ることができる設備を整えていただければと思います。 自然素材の断熱材を使用して夏涼しく冬温かい教室にして下さい。 手洗い・うがいのできる設備が多く必要です。マナーも教育の一環だと思います。まさか便所と併設ではないでしょうね。 動線に無駄がなく、児童・生徒がゆとりを持って教育活動ができる施設。 図書室は、本があまり好きじゃない子でもつい覗いてみたくなる、行きたくなってしまふような居心地のいい雰囲気にしてもらいたいです。靴を脱いで上がれるスペース、座り心地のいいソファなど。通常の書架の他に、本の表紙を見せながら収納できるタイプの棚があると、自分の知らなかった新しい本と出会えそうです。 図書室等の施設を利用し、知力を伸ばす。 大グラウンド、小グラウンドをおおいに活用し、まず体力の養生。

	④地域を愛し、地域に愛される学校	⑤管理しやすく、使いやすい学校	⑥その他
要望・提案・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・5小学校1中学校の歴史や特色を残し、地域の方が気軽に来校できる「地域交流室」にする。 ・夜間等の一般開放時のセキュリティーに関連し、地域交流ルームと体育館を一体化して考えるべき。(現案では両者が離れすぎ) ・地域交流ルームの機能(広さ、設備、場所)のさらなる充実。 ・地域交流室が全体から孤立したような場所にあるのが気になります。地域のシンボルとなる交流広場の「やしろのにわ」に面した場所に設置できれば、子どもたちの様子を見ながら活動でき、触れ合う機会も増えるのではないのでしょうか。 ・地域交流室を2階の一室で対応されるのであれば、人数も内容も限定されると思います。 ・みんなのホールも地域交流施設になっていますが、渋谷のスクランブル交差点に屋根があるだけで30秒も留まらないと思います。ホールに学校の歴史・文化・加東市の未来を想像できるパネル等を展示すれば保護者や地域住民と一層連携が深まると思います。 ・子供が在学なくなると学校ってもう用がなくなり行かなくなりますが、地域住民との連携で学校・子供への関心・興味もたれ、地域住民の目で防犯の役割も持たれると思うので、地域住民をまき込んだイベントなどを行事にとり込む。 ・セキュリティーの問題などもあるかと思いますが、広く市民の方々に開放して、学校を利用していただけるような工夫をしてもらえればと思います。 ・みんなのホールややしろのにわを市民に広く開放できればいいのではないかと思います。みんなのホールでは展示会などを開催したり、やしろのにわでイベントを開催するなどしたりできれば、より市民の方々にも親しみの持てる学校にできるのではないかと思います。 ・地域のシンボルとなり、地域交流の場をデザインできる施設。 ・学校エリアが広いので駐車場スペースを出来るだけとって欲しい。休日の地域開放時には、使用エリアと閉鎖エリアとの防犯防災の為の施設が必要。 ・地域交流施設との夜間等の分離。 ・避難所機能の充実(ソーラー、水、宿泊対応) ・プールの市民開放 ・地域に愛される学校づくりの為の具現策とは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階の光庭の必要性。(先進校でも安全管理面でデッドスペースになっているケースもあった) ・原案の職員室の位置と通常教室や屋内運動場、技術棟、プール棟とが遠く、移動に時間がかかり、児童生徒の姿も見えない。ティーチャールームも配置される計画であるが、「原案の職員室」と「保健室～教育相談室(放送室も含めて)」を入れ替え、「やしろのにわ」に隣接する北校舎(現社中学校校舎)1階に職員室を配置することを検討できないか。保健室や教育相談への保護者の来校にも配慮しやすいと考える。 ・死角が増える分、防犯カメラの設置等で配慮する必要がある。また、施設等施設管理の負担を減らすシステムも必要である。 ・グラウンドやテニスコートからの砂塵の進入防止や増設校舎棟への照り返し対策、テニスコート上の活動をより見やすくするために、「プール棟」を屋内運動場南側に併設させる。カセ池の埋立て地に一部「プール棟」がかかることや小グラウンド、テニスコートの面積や向きの変更が必要ではあるが。 ・教室の配置について、8年生と9年生は逆ではダメなのではないでしょうか。逆の方が7年生から8年生へのつながりが自然で、また9年生にとっては図書室が近くなり、受験勉強などでの自習室の利用もしやすくなると思います。4階の交流ラウンジの用途(吹奏楽部の練習スペース)から、音楽室と家庭科室の配置は逆の方が使いやすいのではと思いますが、既存の配置を活かしているのでしょうか。 ・広い敷地に大きな校舎が配置されているので、移動に時間を要するのはしかたないのかもしれない。小学校側の小グラウンドが校舎より少し離れているので、体育倉庫などが離れていて不便かもしれない。菜園エリア近くにも倉庫など使いやすい配置などを検討したい。 ・大小それぞれのグラウンドに、使用、収納、管理しやすい倉庫を設置する。 ・保護者としては、駐車場のことや参観日などで学校を訪れた際に教室の配置図などを設置したり、保護者がたくさん来ても十分なスペースを確保したりできるようにしなければと思います。 ・美しさを維持するため、教室や廊下の床の材質の検討を十分行う。 ・修繕しやすい施設。 ・修繕ありきで施工するのではなく経年劣化・老化・腐食・加水分解する材料を使用するのではなくグレードの高い資材を使用して100年位寿命を維持して下さい。例えば水回り全てをPVCや鉄管を使わずにサニタリー配管で行う。 ・小グラウンドにもメンテナンス管理の車輛出入口通路が設けて欲しい。東門から出入するなら、菜園は不必要です。増築校舎が池跡地にかからず、地盤が安定し良い。 ・小グラウンドの水はけ(沼地跡、凹地の為注意を要す) ・防犯対応の充実(カメラ、フェンス、有刺鉄線等の配置) ・救急対応(救急車乗入れ時の動線) ・校中の清掃に関して ・管理という点に関しては実際に学校を使う教職員の方々に考えてもらうほうが良いかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南側のプール棟の配置については、照り返し等が考えられるので、配置についてはもう一度検討してほしい。 ・1階教職員ラウンジ:休憩室のイメージ?(でも部屋ではないように見える)職員休憩室は必要。 ・現在アフタースクールに登録している児童が、日によって帰宅したり、地域子ども教室に行ったりしている。(帰宅する子も地域子ども教室に行くことがある。)日々、家庭からの連絡により、帰るところを確認し、まちがわないようにしている。そこで、徒歩、スクールバスの児童が整列して確認する場所が必要ではないかと思う。(上記2で記入した内容に追記)又、12台のバスがあのかのバスロータリーでうまく可動するのか検討が必要。 ・社アフタースクールに帰る子は、バスに乗る必要があるのか。 ・児童生徒の送迎の際の駐車場は、どこになるのか。 ・基本コンセプトに基づき各立場から様々な意見が出る中で、予算や工期等も鑑み可能な範囲で意見を取り入れていってもらえればと思います。 ・建築中はもちろん在学中の子供たちがいますが、勉強・体育・部活動が少しでもよりよく出来るようなスケジュールで建築してほしいです。 ・工程計画について、令和4年4月～6月に既存プール棟解体、令和5年2月～7月にプール棟新設の予定となっていますが、この期間の水泳の授業はちゃんとできるのでしょうか。 ・耐久性に優れ、利便性が良いこと。 ・健康に配慮した建材の選定(塗料、接着剤等) ・地球温暖化の影響で自然災害、台風や豪雨、洪水がどんどん巨大かつ、頻繁になってきています。何か被害が起こると決まり文句の想定外でしたと言えないようお願いいたします。 ・開校準備委員会欠席し、申し訳ありませんでした。資料だけでイメージすることができず、うまく意見書が書けていませんが…毎日使う子どもや先生方が使いやすい学校になれば… ・7, 8, 9年生、特に9年生の実績が大事かと思います。入って良かったと実感できる、学園になって欲しいと思います。 ・保護者としては、子どもたちが毎日通う学校なので、ぜひ快適な環境で学習ができるようにしていただければと思います。実際に子どもたちを指導して下さる先生方の意見を特に大切にいただき、よい学校にしていいただければと思います。

	①加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校	②だれもが楽しく通える安全・安心な学校	③快適でゆとりのある学校	④地域を愛し、地域に愛される学校	⑤管理しやすく、使いやすい学校	⑥その他
良いと思われる点	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭を中心に4・3・2製の教室配置がよく考えられていて良いと思います。 ・4・3・2制に適した教室配置になっていると思う。 ・各年代に適した学習環境を整えるような教室配置になっていると思います。 ・異学年交流施設とありますが、どのようなものができるのか楽しみです。 ・異学年交流が容易にできる校舎の設計がなされており、小中一貫教育が推進できる環境になるのではないかと思います。 ・学年ごとに離れた作りにはなっているが、全く離れた状態ではなく、お互いがそれぞれの存在を感じられる作りになっているのではないかと思います。 ・既存校舎棟と増築校舎棟が交流棟で連結され、それぞれの学年の学習環境を保ちつつ、小中の児童・生徒が自然と行き交える校舎配置だと思う。 ・児童生徒の活動の様子が相互に日常的に目に入るよう配置されている。「やしろのにわ」から交流棟につながる箇所は、全校生の交流や学年毎の集会等で活用できる。 ・昇降口にみんなのホール、2階にはメディアライブラリー、各階にも多目的室が有り、交流他に良いでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の際の生徒と自転車・スクールバスの動線がきちと分けてあるのがよい。 ・歩道も広く登下校しやすい。 ・現入口付近にバスロータリーが設けられ、校舎出入口に近くなり良い。 ・特支教室・保健室（カウンセラー）が昇降口附近に有り良い。 ・高台に建つ学校なので、災害時には安心して避難所として使えると思います。 ・耐震や防火などの面については、専門家がきっちりと考えた計画だと思うので、安心していいかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭があるせいか緑も多く、すがすがしい様子が目にうかびます。 ・手入れも大変かと思いますが、愛校作業なども利用して快適にしたいです。 ・やしろのにわがあることにより、自然と快適に生活できる施設になっていると思う。 ・1、2年には図書室や外へのアクセスが容易なところや3、4年は外国語や理科室、メディアライブラリーへのアクセスが簡単など、それぞれの学年段階に応じた配置になっているのではないかと思います。 ・吹抜けが有り、開放感が持てて良い。みんなのホール、交流棟（場）に木製内装材を使用すれば温かみが持てるでしょう。 ・低学年の児童でも移動しやすいような配置になっていると思う。 ・広々とした敷地で明るい快適な学校・校舎だと思う。その反面周辺が道路など狭いので、登下校など安全に留意したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やしろのにわ」、交流棟、充実した体育設備があり、地域のシンボルとなる校舎を…という委員会の意見が反映されていると思います。 ・地域の文化をとり入れた学校デザインになっており、良い印象を持てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な収納スペースがあり、使い勝手がよいと思われる。 ・今の建築はよく出来ていて、メンテナンスもしやすくなっているんじゃないかな。と思います。専門家の方にお任せしてよりよいものができるのを応援したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)大建設の計画案は高いレベルの提案です。